



議会だより

せとうち

2016

5.1

第46号



議案審議	2~5
議会報告会の予定	6
代表質問	7~12
個人質問	13~19
地域のかがやき	20
次回定例会の予定	20

「安全運転に気をつけて！」 春の交通安全フェスタで啓発運動

28年度当初予算案で可決

一般会計 161億8112万円
 特別・事業会計 192億2589万円

子育て環境充実へ 福田保育園増設

本市では、保育園への待機児童はいないが、一部地域では希望する保育園に入園できない状況はある。

0・1歳児の保育、一時保育、発達支援教育など、多様化する保育ニーズに対応するために、福田保育園を増設する設計予算、約300万円が計上され、可決した。

問 福田保育園の増設と旧久保保育園の民営化とは関係ないと考えてよいか。

答 民営化を前提としたものではない。あくまで、現在求められている保育ニーズに早急に対応するためのものである。

問 福田保育園を公立の拠点園として整備するつもりか。

答 拠点園としての整備を前提としたものではない。

問 福田保育園を発達支援教育の拠点にするのか。

答 あくまで、発達支援教育のサポートになる場所をめざす。保育士や保護者の研修の場として有効に活用するようにしていく。

問 この度の設計予算の根拠は。

答 木造で新築して8000万円を見込んでいる。

問 旧JA福田既存建物の再利用はできないか。

答 リフォームを検討してみたが、7500万円ぐらい必要との試算もある。リフォームか新築かについては、今後協議していく。

子ども包括支援センター創設

妊娠期から子育て期までの総合窓口を設置するための予算450万円が計上され、可決した。

問 設置する場所は。

答 ゆめトピア長船である。

問 具体的な支援内容は。

答 専門職を配置し、子育てに対する相談を受け、支援につなげる。

問 何歳までが対象か。

答 中学校卒業までである。ただし、すぐに中学生までの支援はむずかしいが、今後も教育委員会と連携していく。まずは妊娠期の支援を充実させていく。

適応指導教室 (のぞみ)を充実

青少年育成センターに1名増員する人件費など、約180万円が計上され、可決した。

問 のぞみは、現在、青少年育成の補導と不登校児童・生徒の支援の2つの事業を行っている。今後はどのような体制になるのか。

答 不登校児童・生徒の支援を充実するために、家庭訪問型の支援を考えている。

移住定住促進 協議会を新設

移住定住の促進のため新たに協議会を設け、その活動費用として370万円が計上され可決した。

問 協議会の構成は。

答 移住コンシェルジュ、住宅相談や仕事相談の事業者、移住支援団体を考えている。

問 活動内容は。

答 移住者の相談にワンストップで対応する。また各団体の連携強化を図るとともに、相談会の開催、広報活動、移住定住促進事業の創出等を行う。

外国語指導助手を拡充

小・中学校および幼稚園へ外国人講師を派遣し、英語教育の充実を図る予算3780万円が計上され、可決した。

問 各学校への配置は。

答 小学校に3名、中学校に3名、幼稚園に1名である。小学校・幼稚園の巡回等については、協議中である。

問 雇用形態は。

答 プロポーザル方式により、業者選定を行う。から高い質の外国語指導ができると考えている。

問 どのような講師を考えているのか。

答 日本のルールやマナーも含めて、外国語を指導するトレーニングを受けている人をお願いする。



外国語指導助手による授業



人員が配置される「のぞみ」

市道錦海師楽線整備事業に 1億1000万円

錦海湾堤防管理道を市道錦海師楽線として整備する事業費、1億1千万円が計上され、可決した。

問 観光道路ということだが、詳細は。

答 既存の市道、県道を利用し、岡山ブルーラインと牛窓を最短で結ぶことが可能になり、新たな幹線道路となる。

問 観光バスは通れるのか。また、強度は大丈夫か。

答 今回の委託料で道路の詳細設計、地質調査、用地測量等も行うので、十分調査した上で設計に入る。



整備が予定される錦海湾堤防管理道

沿岸部排水計画策定 1千万円

台風・高潮等の対応力強化のため、排水計画を策定する委託料1千万円が計上され、可決した。

問 今までに十分データはある。なぜ1千万円もの調査費が必要か。

答 瀬戸内市沿岸部全域の調査である。

既存の常設ポンプ、応急ポンプでの対応箇所だけでなく、被害があった箇所を調査し、対処方法を検討する。今までのデータもあるが、専門的知見のあるコンサルタントに委託し、詳細なデータを集め、判断材料にする。

福山浄水場整備

福山浄水場施設更新に、5年で38億1900万円の予算が計上され、可決した。

問 合併特例債が満額充当できるのか。

答 できる限り期間に間に合う工程表を提案させ、業者選定を行う。



新しくなる福山浄水場

国民健康保険特別会計予算 健康底上げ事業1900万円

国民健康保険事業の中で、健康底上げ事業を行い、国保被保険者が健康に関心を持ち、健康を守る環境を整備する予算に1900万円が計上され、賛成多数で可決した。

問 詳細は。

答 心電図と眼底検査の無料化、20歳から39歳の人を対象としたアンダー39健診の実施、特定健診の結果、優良者と継続受診者への万歩計等の粗品提供、健診PR用懸垂幕の作成などをする。市外で人間ドックを受け、データを市へ提供した人には5千円のキャッシュバックをする。また、まちかど健康相談も行う。

問 市民への周知は。

答 5月ごろから、広報紙やホームページに掲載する。さらに個別訪問の際にチラシを配る予定である。

国民健康保険税が引き下げられなかったことに対して反対の意見がでた。
〈討論〉

反対

国民健康保険税を引き下げなかったことは認められない。国保税に対しては、これまでも市民が声をあげてきた。議会としても陳情採択をし、引き下げをすることに對して後押しをしてきた。低所得者対策で国から算入された予算を国保税引き下げに活用するべきである。市民の願いが受け入れられなかったこの予算は認められない。

賛成

医療費の抑制を行い、安定した財源の確保ができたときに引き下げをするべきだ。医療費の上昇する懸念が存在する。ま値下げをすることはできない。懸念材料は、健診率が40%であるため、未受診者の医療費が推計できないこと。また、健診率の向上による有病者の掘り起こしによって一時的な医療費の増加もある。市民の医療費を賄う適切な保険会計を運営するべきだ。

市長等の給与 カットにノー

市長、副市長の給与を、平成28年4月から2年間、20%カットする条例案が提出されたが、反対多数で否決した。

反対

本人の給与カット自体には反対しないが、削減期間が任期を越えているので反対である。中期財政計画、行政改革プランは、来たるべき選挙においてその是非、方法論について議論されるべきと考える。

賛成

自らの給与削減を率先して行う姿勢を評価する。ただし、これと職員給与カット、住民サービスのカットとは連動しないことを確認する。任期を超える期間については、市長自ら修正されることを期待して賛成する。

代表質問

せとうちクラブ 石原 芳高



- 1 空き家対策について
- 2 学校教育について
- 3 応援寄附金について
- 4 予算編成過程の公開について

危機管理部長
関係部署で構成された、空き家対策会議を開催しており、情報共有や対策について調整会議を進めている。今後は、空き家等の適正な管理の促進に関する条例の制定や、空き家等の利活用、除去等に対する支援、空き家の発生、増加の抑止対策に向けた取り組みを考

問 今後対策が必要な空き家、空き地は増加することが予想され、地域の力を借りて、対策を講ずる必要がある。行政の後押しが必要だと考えるが、所見を問う。
また、寒波の到来によって、空き家の水道管が破裂したケースが報道されていたが、空き家の水道管の管理、指導はどのようなものか。

上下水道部長
冬季には、広報とホームページを利用して、防寒対策のPR活動を実施している。寒波や老朽化による給水管破裂が判明した場合には、職員が緊急対策として元栓を閉め、使用者に連絡を取っているのが現状である。

問 ICT機器が導入されて一年以上が経過した。劇的な変化や効果を期待するのは時期尚早の感もあるが、実証や検証をすべきではないのか。教育長の所見を問う。

教育長
市内の小、中学校の教員を対象に、アンケートによるICT活用に関する実態調査を行った。94パーセントの職員が、学力的に効果があると肯定的な

問 ふるさと納税をされた方に対して、寄附の使用状況等の事後報告はどのようにしているのか。
全国に競争が激化しているが、ふるさと納税をしてももらえるよう、特色を持たせた取り組みの考えは。

総合政策部長
ふるさと納税の用途については、市のホームページに掲載するにとどまっている。効果等も見きわめながら、お知らせの方法を検討したい。
特色を持たせた返礼品を提供できる事業者についても、今後掘り

「瀬戸内市のふるさと納税」についてはこちら

HP <http://www.city.setouchi.lg.jp/>

瀬戸内市 ふるさと納税

検索

寄附件数・寄附金額情報

年度	2008年	2009年	2010年
寄附件数	3件	3件	3件
寄附金額	200,000円	3,585,000円	370,000円
年度	2011年	2012年	2013年
寄附件数	33件	35件	99件
寄附金額	3,440,000円	5,035,000円	7,495,000円
年度	2014年	2015年	
寄附件数	429件	204件	
寄附金額	18,025,000円	27,445,000円	

出典: 総務省より ※2015年は4月～9月の期間の情報になります。

代表質問

日本共産党瀬戸内市議団 厚東 晃央



- 1 住民生活を支えるまちづくりについて
- 2 安心して子育てできるまちづくりについて
- 3 市民病院について

問 生活交通を作っほしいというのは、年をとっても住み慣れた地域で暮らしていきたいという市民の願いである。策定された「地域公共交通網形成計画」を進めていくうえで、モーモータスのようにやめてしまうのではなく変更しながら、継続することが必要となるが、どのようにしていくのか。



市長
持続的に運行できる仕組みを作ることが非常に大切と考えている。当初はいろいろ物足りない部分があると思うが、市民にとって毎年少しずつよくなっていくように進めたい。

問 高齢者や交通弱者の生活を支えるためには十分ではない。どのようにするのか。
市長
自力で移動できない方には、福祉有償運送や介護タクシーの利用を案内していきたい。

問 介護保険の要支援1・2の方が平成29年から、介護保険の枠ではない総合事業に移行される。市民負担につながらないように対策を考える必要がある。どのようにするのか。
市長
介護事業所等で受けているサービスが継続できるように検討していきたい。サービスの料金も慎重に検討していきたい。

問 現在通園している子どもや保護者に負担がかかり、財政削減にもつながらない公立保育園民営化計画は白紙に戻し、今後を考えていくべきである。どのようにしていくのか。
市長
公立保育園の民営化は必要と考えているので、丁寧な説明をしていきたい。

問 特別な支援を必要とする子どもを育てるためには、住んでいる地域で必要な相談や療育、保育や教育を受けることが必要である。今後の対策は。
市長
乳幼児の健康診断での相談や保育園、幼稚園への臨床心理士の相談ができるようにする。ゆめトピアに子どもも包括支援センターを

設置し、ワンストップ相談を実施していく。
問 学童保育(放課後児童クラブ)の指導員(支援員)の確保が難しい。市が責任を持つべきではないか。
市長
運営主体がさまざまあるため難しいが、賃金を上げるために必要な対策は検討する。



子ども笑顔がはじける!!
安心して子育てできるまちをめざして(福田保育園)

起こしをしていきたい。
問 市民ニーズの把握や、健全な財政運営の面からも、予算編成過程を公開する考えは。
市長
詳細な予算編成過程の公開は、現状では課題が多く難しい。より透明性の高い予算編成ができるよう今後も研究していく。

市長

代表質問

公明党瀬戸内市議団 河本裕志



- ① 教育行政について
- ② 働きやすい職場環境について
- ③ ふるさと納税について

問 教育行政について

全教員の94%がICTを活用した授業改善の取り組みは、学力向上に効果があると考えている。

教員のICT活用能力の向上、授業改善による指導力向上により、児童・生徒の学力向上を図りたいと考えている。

問 働きやすい職場環境について

児童・生徒のわかった、できたが実感できる授業づくりの研究や学力向上プロジェクトチームによる、小中連携を核とした教員の指導力向上の研修会や研究会を通じて、学力向上に一定の成果があらわれている。

問 ふるさと納税について

復帰訓練についても主治医との協議、産業医面談を経て必要に応じて実施している。

問 市庁舎のあり方は

トイレの問題、おむつを交換するような場所、まだまだ改善しない。

問 教育長

児童・生徒のわかった、できたが実感できる授業づくりの研究や学力向上プロジェクトチームによる、小中連携を核とした教員の指導力向上の研修会や研究会を通じて、学力向上に一定の成果があらわれている。

問 市長

復帰訓練についても主治医との協議、産業医面談を経て必要に応じて実施している。

問 市長

男性の育児参加の意識啓発をして、研修等により安心して子育てができる職場環境を整えていく。

問 市長

復帰訓練についても主治医との協議、産業医面談を経て必要に応じて実施している。

問 市長

復帰訓練についても主治医との協議、産業医面談を経て必要に応じて実施している。

問 市長

男性の育児参加の意識啓発をして、研修等により安心して子育てができる職場環境を整えていく。

問 市長

復帰訓練についても主治医との協議、産業医面談を経て必要に応じて実施している。

問 市長

男性の育児参加の意識啓発をして、研修等により安心して子育てができる職場環境を整えていく。

ふるさと納税の意義

ふるさと納税には **三つの大きな意義** があります。

第一に、納税者が寄附先を選択する制度であり、選択するからこそ、その使われ方を考えるきっかけとなる制度であること。それは、税に対する意識が高まり、納税の大切さを自分ごととしてとらえる貴重な機会になります。

第二に、生まれ故郷はもちろん、お世話になった地域に、これから応援したい地域へも力になれる制度であること。それは、人を育て、自然を守る、地方の環境を育む支援になります。

第三に、自治体が国民に取組をアピールすることでふるさと納税を呼びかけ、自治体間の競争が進むこと。それは、選んでもらうに相応しい、地域のあり方をあらためて考えるきっかけへとつながります。

●参考ホームページ 総務省ふるさと納税ポータルサイト
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/policy/

代表質問

瀬戸内市民の会 小野田光



- ① 行財政改革について
- ② 下水道事業について
- ③ 過疎地対策について
- ④ 子育て支援について

問 行財政改革について

投資的事業の新図書館整備、新病院の建設が平成27年度で終了したにもかかわらず、平成28年度当初予算で財政調整基金を6億5千万円も取り崩さざるを得なかった要

問 下水道事業について

下水道事業は、毎年大きな金額を一般会計から繰り入れているが、新年度からは企業会計となる。

問 過疎地対策について

合併前の大きな不安要因であった地域間格差が、これ以上広がらないよう、周辺部や過疎地対策にしっかりと取り組むべきではないか。

問 子育て支援について

保育園の民営化をはじめとする子育て支援を期待できない。

問 合併前の大きな不安要因であった地域間格差が、これ以上広がらないよう、周辺部や過疎地対策にしっかりと取り組むべきではないか。

問 子育て支援について

保育園の民営化をはじめとする子育て支援を期待できない。

問 行財政改革について

投資的事業の新図書館整備、新病院の建設が平成27年度で終了したにもかかわらず、平成28年度当初予算で財政調整基金を6億5千万円も取り崩さざるを得なかった要

問 下水道事業について

下水道事業は、毎年大きな金額を一般会計から繰り入れているが、新年度からは企業会計となる。

問 過疎地対策について

合併前の大きな不安要因であった地域間格差が、これ以上広がらないよう、周辺部や過疎地対策にしっかりと取り組むべきではないか。

問 子育て支援について

保育園の民営化をはじめとする子育て支援を期待できない。

問 合併前の大きな不安要因であった地域間格差が、これ以上広がらないよう、周辺部や過疎地対策にしっかりと取り組むべきではないか。

問 子育て支援について

保育園の民営化をはじめとする子育て支援を期待できない。

問 行財政改革について

投資的事業の新図書館整備、新病院の建設が平成27年度で終了したにもかかわらず、平成28年度当初予算で財政調整基金を6億5千万円も取り崩さざるを得なかった要

問 下水道事業について

下水道事業は、毎年大きな金額を一般会計から繰り入れているが、新年度からは企業会計となる。

問 過疎地対策について

合併前の大きな不安要因であった地域間格差が、これ以上広がらないよう、周辺部や過疎地対策にしっかりと取り組むべきではないか。

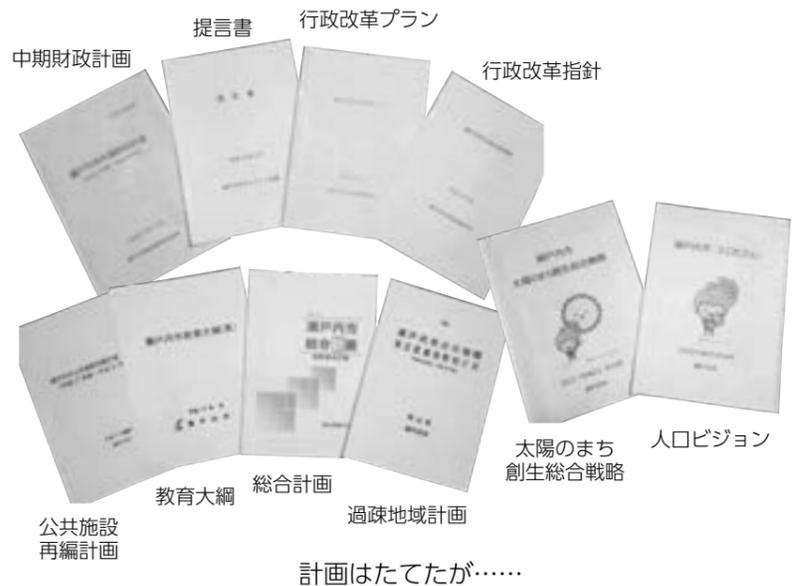
問 子育て支援について

保育園の民営化をはじめとする子育て支援を期待できない。

問 合併前の大きな不安要因であった地域間格差が、これ以上広がらないよう、周辺部や過疎地対策にしっかりと取り組むべきではないか。

問 子育て支援について

保育園の民営化をはじめとする子育て支援を期待できない。



市長

さらなる努力を積み重ねて支援策については、市民に心配を与えるべきではない。あくまで子育て支援策は、市民の立場で子どもたち全体の幸せにつながる方策であるべきと考えるかどうか。

ねていく必要があると思う。

様々な機会を通じ、多くの方々の対話によって方向性を見出し、いきたいと思います。

今後は、対話を基本としたまちづくりの姿勢を忘れることのないようにやっていく。

個人質問

- 川野泰一** (13ページ)
1. スポーツの振興について
 2. 学校の施設整備について
 3. 県道虫明長浜線の整備について
- 角口隼一** (14ページ)
1. 「住み続けるなら瀬戸内市」を実現する教育と家庭学習支援のあり方について
 2. 人と自然が織りなすしあわせ実感都市の実現に向けてあるものを活かす施策の実現について
- 森 俊之** (14ページ)
1. 岡山県市町村総合事務組合について
 2. 前島の大坂城築城残石群について
 3. ふるさと納税について
- 高間直美** (15ページ)
1. 骨髄移植のドナー支援について
 2. CO2削減について
 3. 子育て支援について
- 島津幸枝** (15ページ)
1. 市県民税・国民健康保険税等の徴収について
 2. 生活困窮者支援について
 3. 新火葬場整備について
- 馬場政教** (16ページ)
1. 下水道事業の企業会計移行について
 2. 図書館利用の促進と読書活動の推進について
 3. 今後のまちづくりについて
- 日下俊子** (16ページ)
1. 通学路及び生活道路の安全・安心について
- 中村勝行** (17ページ)
1. 応援寄附金(ふるさと納税)について
 2. 過疎対策について
 3. 旧御茶屋跡について
 4. 市長の給与について
- 室嶋陸海** (17ページ)
1. 太陽のまち創生総合戦略について
 2. 有害鳥獣対策について
 3. 地域公共交通網の整備について
- 原野健一** (18ページ)
1. メガソーラー事業からなる新しいまちづくりについて
 2. 公衆トイレの整備について
 3. 新火葬場整備について
- 日下敏久** (18ページ)
1. 新図書館建設、新病院建設事業について
 2. 企業誘致について
 3. 瀬戸内市振興公社について
 4. 場外馬券場について
 5. 新火葬場整備について
- 小谷和志** (19ページ)
1. 住みやすいまちづくりについて
 2. 安全・安心なまちづくりについて
 3. 税金等の徴収の対応について
- 竹原 幹** (19ページ)
1. まちづくり会議の提言、公共施設再編計画、地域一括交付金について
 2. 平成28年の主要施策について

代表質問

かなえ 布野浩子 県の会



- 1 農業政策について
- 2 地方創生について
- 3 教育について

問 農業は命を生き育てる。次世代に繋げるためにも力強い農業政策が必要である。農産物の独自化、ブランド化をどう進めるのか。特にふるさと納税でも人気のあるお米のブランド化を考えたかどうか。

市長 独自性を打ち出し高品質による産地化を図り、地域ブランドとして売り出すのは、安定した販売ルートを確保していく上でも重要。産地化を含む生産面では農業者団体の果たす役割が大きい。市として販路拡大等の連携をとっていく。ふるさと納税のお礼品として新たにお米を考えている。ただ今のままではブランド化は難しい。今後栽培方法や品質管理の方法を差別化できるように検討する。

問 農業政策は作り手側にも必要。地元産物の良さを知ってもらうための事業、部署とどう連携をとっていくか。

市長 現在でも保健福祉部の「ページもつとフェスタ」や、学校給食に地場産物を取り入れる等、農業と他部署の連携事業が行われている。今後瀬戸内市で暮らすこと自体が豊かで市民の誇りとなるよう、様々な事業を繋げ、目に見える形で伝える。

問 地方創生推進交付金の対象となる先導的な事業には、官民協働・地域間連携・政策間連携など横のつながりが重要。縦割り行政からの脱却を期待するが、どう取り組むのか。

市長 複数の政策を相互に関連付け地方創生の効果を発揮するとともに、市民サービス向上という点でワンストップ型の窓口の整備にも配慮する。市役所組織内の縦割りを排除するよう職員の意識改革に



生涯学習の拠点として期待される新図書館・公民館

努め、必要に応じてプロジェクトチームなど横申の組織を設置することも視野に入れ事業設計を行う。

問 人を育てるための公民館・新図書館の役割をどう果たしていくのか。

教育長 住民のニーズや地域の課題を共有し両館の連携を図り、市民の皆さんが主体的に学ぶ生涯学習の拠点として貢献できるように、運営に工夫を加え続けたい。



川野 泰一

問 邑久中学校の大規模改修は7月着工、30年度完了予定

問 邑久中学校舎の大規模改修のスケジュールは。

問 工事期間中の安全対策、騒音対策は。

問 県道虫明長浜線の生塚知尾間の拡幅は。

教育次長 平成28年度に南棟から改修する予定で、議会の承認を得て、契約を締結し、7月頃から工事着手の予定。

教育次長 生徒達が学校生活を送る中での施工となり、長期間にわたる工事となるので、現場での安全管理の徹底は不可欠。

市長 待避所を1日も早く実現できるように引き続き頑張る要望していきたい。

夏期休業中に南棟と北棟の間の中庭に仮設教室を建設し、騒音が懸念されるコンクリートの剥離工事など優先的に実施する。その後、外部工事に取りかかり、年度末の完了を見込んでいる。

大きな音が出る作業は、なるべく夏期休業中に実施するなど学習環境への影響を最小限に抑えている。



大規模改修する邑久中学校



角口 隼一

問 防災センターを利用しやすくしては

答 展示パネルから更新をしていきたい

問 平成7年に消防本部庁舎の隣に併設された防災センターは、少しずつの情報の更新はあるが、内容などが古いため魅力が落ちている。

機器の整備も含め新しい情報の更新や自身の充実をはかり、市民が防災について学べる場の整備を図っては。

消防長

現在主な利用団体は市内の幼稚園や小学校となっている。今後より多くの自主防災組織の皆さんや市民の方々に使用していただけるようにしたい。

具体的には、自主防災組織の目的である自助、共助のために役立つ展示物から更新や新たな整備をして防災意識の向上に役立つ学習の場にしていく。



利用促進が期待される防災センター
(瀬戸内市消防本部1階)

※GIS
さまざまな情報を視覚的に表示するための地理情報システム

通学路の危険箇所は平成24年から合同点検を行っているが、児童生徒などへの情報提供は不十分である。これらの情報提供を行うため瀬戸内市統合型GISを活用し、市内の通学路における危険箇所や危険路線が内容、写真つきで地図上で確認できるように準備している。インターネット上で閲覧ができればよい。

教育次長

問 通学路の危険箇所

所などを地図で示し、児童生徒などが目に見えるかたちにしては。

教育次長

通学路の危険箇所は平成24年から合同点検を行っているが、児童生徒などへの情報提供は不十分である。これらの情報提供を行うため瀬戸内市統合型GISを活用し、市内の通学路における危険箇所や危険路線が内容、写真つきで地図上で確認できるように準備している。インターネット上で閲覧ができればよい。



森 俊之

問 ふるさと納税1万円からお礼の品対応を

答 4月以降に再度見直しを行う

問 Setouchi Kiriakiに認定された商品が、ふるさと納税のお礼の品(以下「返礼品」)に入っていないのはなぜか。

総合政策部長

本市では現在寄付額3万円以上の方に、返礼品をお送りすることとしており、下限が9,000円となっているためである。

今後魅力ある詰め合わせ商品を提供できる企業の掘り起こしと同時に、基準を見直し低価格の商品を加えることを検討する必要があると考えている。このことが寄付者を増加させ、市内企業が自社商品を提供できる機会をつくり、地場産業の活

性化につながると考える。

問 前島の大坂城築城残石群の位置づけと今後の管理方針は。

教育長

どう活用し保存していくのか、総合的に検討する必要がある。

市長

資産価値のある大切なものと考えているが、現状は民地であるので多方面から検討をしなければ前に進むのは難しいと考えている



大阪城築城残石群

総務部長

福利厚生部門負担金が約半額になり、事業に係る財源の区別化がなされることとなった。

問 岡山市町村総合事務組合の昨年の報告を。



高間 直美

問 骨髄バンクドナー助成制度を設けては

答 前向きに検討する

問 移植を待つ患者は約3千人。ドナー登録者約45万人のうち現在ドナーの健康面、経済面で提供を断念している方が約3割。骨髄提供者への助成金を設けてはどうか。

保健福祉部長

全国で助成金制度を設ける自治体が増えている。県の要項を参考に前向きに検討する。

問 「ごみ30%減量作戦」の今後の取り組みはどのようなのか。

市民生活部長

生ごみをバイオマスエネルギーに変換してリサイクル利用する廃棄物系バイオマスの利用を、検討していく。

問 「自然エネルギーを生むまち瀬戸内市」として、太陽光発電が注目されている。バイオマスの利活用等太陽のまちプロジェクトとして自然エネルギーを学べる体験型の施設を作ってはどうか。

市長

本市が果たすべき社会の役割を十分に認識した行動が求められる。今後、環境政策推進室を中心として検討を進める。

産業建設部長

事業計画にある子どもたちへの環境学習、市民への環境意識の醸成だけでなく、観光振興にも資する施設として大変に有効。前向きに検討する。



骨髄バンクドナーを呼びかけるパンフレット



島津 幸枝

問 国保税の引き下げを

答 今回は引き下げを見送る

問 国民健康保険税引き下げの検討状況は。

市民生活部長 平成28年度の国保税の引き下げを見送る。平成30年度からの国保の広域化に向けて、県から10月に標準保険料率が示される。それを参考に、来年度の引き下げの可否を検討する。

問 家族が、病気や、失業等で収入が激減した場合、国保税が減免となることを規則等にうたうべきでは。

市民生活部長

規則ないし要綱で定めていきたい。

問 生活困窮世帯の子どもに学習支援事業を。

保健福祉部長

ひきこもりや不登校の経験があり、学習支援が必要と思われる相談を複数受けている。今後、子どもの状況を把握しながら、職員確保、他事業所への委託等を考えていく。

問 税等の延滞金の減免制度について、規則・要綱等で明文化を。

市民生活部長

延滞金の減免については、やむを得ない理由に該当するものを明確化するため、税に係





馬場 政教

下水道事業の法適用準備事務の体制は

一部適用による下水道事業組織とする

下水道事業が企業会計へ移行するが、組織体系の整備と法適用準備事務の体制はどのような計画なのか。

公営企業は必要な費用を自身の料金収入によって賄わなければならないが、現在の資金の不足率はどの程度か。

上下水道部長

4月1日から一部適用による瀬戸内市下水道事業の組織体制及び事務分掌を法適用前と同様の事務扱いになる。

管理者の権限は市長にあり、職員の身分も地方公務員法を適用する。全部適用とし管理者

設置等については、下水道部局との統合が行われる時点において拡大適用を検討する。

経営成績の明確化、減価償却費を含む正確な原価の把握を行いながら、審議会等により料金等をはかるなどして適正な算定に努める。

資金の不足率は現在計算していない。今後示していきたい。

邑久保育園の民営化という市長肝いりのブランド化を今後どのようにするのか。

市長

指摘された問題点を真摯に受けとめ、議会や市民の皆様を引き続き丁寧な説明を行いながら努力する。



下水道事業も病院事業と同様に公営企業として収益性を求められる

日下 俊子

全小学校区にゾーン30の適用を

有効な手段であり、検討していく

生活道路において、歩行者等の安全な通行を確保するために、ゾーンを定めて最高速度30キロの速度規制をする「ゾーン30」という対策がある。

邑久小学校区、行幸小学校区に適用されているが、全小学校区に適用してはどうか。

教育次長

有効な手段と認識している。学校、警察と協議しながら検討していく。

基本的には、歩道を通ることができなくなった自転車を守るのには、道路の拡充・自転車レーンの整備しかないが本市ではむずかしい。

基本的には、歩道を通ることができなくなった自転車を守るのには、道路の拡充・自転車レーンの整備しかないが本市ではむずかしい。



自転車歩道通行可の設置を求める南北道

来年度当初にできない鳥獣被害対策協議会、実施隊について、丸投げではなく旗振りはっきり市でお願いしたいがどうか。

産業建設部長

事務局は市の担当課になる。市だけではできない部分が多分にある。地元、実施隊と連絡を密にとって進めていきたい。

捕獲おりを部落に補助もしくは配布することはできないか。

産業建設部長

現在、防護柵の補助金はある。今後駆除班とも相談しながら、検討していきたい。

室崎 陸海

住みよいまちづくりの実現に向けた状況は

災害に強く暮らしやすいまちづくりに努力

邑久の駅舎及び駅前前の整備構想を28年度に着手するようだが、それに合わせてJR邑久駅から牛窓行き

の電車を公共交通整備計画の中で検討する必要があるが十二分にあると思うかがいかがか。

副市長

壮大かつ夢がある提案と認識しており、実現の可能性を多方面にわたり十分に検討する。

市長

インフラ整備は結果的に地域に富を生む。先を見据えた計画的な投資をして真剣に考えていくべき観点だと考えている。

港の整備と海の浚渫状況について、県との対策協議は進んでいるのか。

産業建設部長

瀬戸内市の公共水域に放置されているプレジャーボートは約千艘。その船の整理が解決できておらず、浚渫

副市長

ができない状況である。引き続き県に強く要望し、対策を行っている。

住み良いまちづくりの実現に向けて、ももろの整備状況は。

住み良いまちづくりの実現に向けて、ももろの整備状況は。



浚渫が絶対必要な牛窓沿岸部

中村 勝行

旧御茶屋跡の今後の活用は

活用策をプロポーザル方式で公募する

旧御茶屋跡の活用については、平成23年9月議会で質問した経緯がある。

「今後、観光や地域活性化の拠点施設として整備活用したいと考えている。早い段階で当該建物や、周辺地域を含めた有効活用の提案を求め、できれば来年度予算へ反映できれば

副市長

建物の譲渡、または土地は貸与という条件で公募したいと考えて

民間頼りではなく、市が観光と過疎対策のために過疎債を利用する考えは。

市長

過疎債を活用することも考えられるが、建物を使って市として具体的に何をやるかが決まっていなくて難しい。今後、牛窓の活性化は模索していく。



原野 健一

問 メガソーラーで新しいまちづくりを

答 まずプロジェクトを進める要件整備から

問 メガソーラー事業の本拠地周辺にある、尻海・長浜・師楽地区を一体的に、新しいまちづくりのモデル地区に認定し、移住者や多くの観光客を呼び込む政策を考えてはどうか。

産業建設部長

錦海塩田跡地の貸付料収入を太陽のまち基金に積み立てる。それが



まちづくりを望む尻海・長浜・師楽地区

を財源に、市が主体となってまちづくりに取り組む。

まずプロジェクトを進める要件を整備し、その上で産業の集積、新エネルギー関連企業の集積、新たな企業の進出、そこからまちのにぎわいの創出につなげていきたい。

問 メガソーラー事業主体の協力を得て、設置されたパネル周辺を1周する、ミニモノレールを走らせてはどうか。

また、周囲を一望できる観覧車を整備してはどうか。

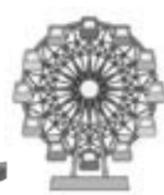
実用向けと観光用の両面から、尻海・長浜・師楽に各駅をつくり環状線化する。

地方創生事業から、また民間企業の協力も得、これから始まる新しい公共交通とも組み合わせられた構想で新しいまちづくりを行って

は。

副市長

モノレール、観覧車については問題が多いと思う。ただ、3地区の連携という提案については同感できる。



日下 敏久

問 新図書館・新病院事業の反省は

答 不測の事態による工期延期

問 現時点での反省点は。

市長

両事業共に工期が遅れたが、今後の開館、開院準備に万全を期して取り組みたい。

問 尻海地区に夢実現の企業誘致の考えは。

副市長

人口増加策を最優先課題として企業誘致事業を展開したい。

問 邑久浄化センター東側土地の有効活用策は。

産業建設部長

担当部と協議し活用方法を考えたい。

問 農業者の高齢化が進む中、振興公社の今後の在り方は。

市長

新たな耕作放棄地対策や地域振興事業が本当の役割であるので、理事会で人員や財政について検討したい。

問 場外馬券場について現在の状況は。

総合政策部長

現時点で工事着手はしていないため、岡山県と連携して、事業者の意向を把握したい。

問 新火葬場整備計画策定の進捗状況と関係者との協議は。

市民生活部長

現在資料収集整理、現地調査、概略計画の作業を進めている。

市長

候補地と岡山市との協議は最優先に取り組み速やかに報告したい。

小谷 和志

問 行政無線の聞こえない地域への対策は

答 FM放送を活用した方向を検討

問 防災行政無線での市民サービス(不審者情報・振り込め詐欺等の情報)もされているが、聞こえない地域の方への対応は。

問 条例がない中、牛窓診療所から市民病院まで市で運行しているバスがあり、公平な行政サービスではない。

副市長

牛窓から市民病院まで運行しているバスは激変緩和措置として行っている。

今後の公共交通対策も含め早急な対策を考えては。

このままの体制で現状を維持するのは、厳しいと考える。

竹原 幹

問 長船駅に自動改札の設置を

答 最大限くみ取れる対応を取りたい

問 今年1月号の広報紙には、駅の整備について検討を本格化させるとある。公共交通網形成計画素案には、駐輪場に屋根の設置も取り入れている。長船駅に、エレベーターを2基設置し、北口に自動改札口を整備しても1億円と聞く。国、JR、市がそれぞれ負担し、整備できるのではないか。

問 平成30年度には、コミュニケーションセンター、老人憩いの家、介護予防拠点施設、地域交流サロン、公民館分館等は、地元に譲渡し、一括交付金制度を取り入れる計画だが取り組み状況は。

総合政策部長

地域自治組織への一括交付金の導入に対する理解が十分深まっていない現状があり、導入の先延ばしも考えざるを得ない。

施設の譲渡が地域にとつてどのようなメリットがあるのか、十分検討したい。

問 地域一括交付金は、瀬戸内市に適した制度と考えるか。

総合政策部長

住民自治組織が育成できなければ、前には進まないと考えている。

今後については、新たな情報伝達手段として、コミュニティFM放送を活用した方向の検討も含めながら、さまざまな手段を用いて、確実な情報を提供していきたい。



津山市で使用されているFM受信機



エレベーターの設置を(長船駅)

市長 詳細に他市の他駅の事例を研究し、提案は最大限くみ取れるような検討したい。

★地域のかがやき★

地域の写真を市民のみなさんから募集します



正通寺(長船町土師)の稚児行列



地域ボランティアへの感謝の会(国府小)



わかば賞を受賞したビブリオバトルメンバー(邑久中)



永楽学園修業式(牛窓町)

史跡となつて

岡山県指定古墳のひとつであり、

は瀬戸内市を代表する

古墳のひとつであり、

は阿蘇山の凝灰岩でつくられたものと判明して

います。

築山古墳は、周囲を二重に濠が巡る「二重周濠」をもっており、全長は11.5mにもなります。後円部には堅穴式石室の一部が露出しており、

家形の石棺が置かれています。石棺

は阿蘇山の凝灰岩でつくられたものと判明して

います。

築山古墳は、周囲を二重に濠が巡る「二重周濠」をもっており、全長は11.5mにもなります。後円部には堅穴式石室の一部が露出しており、

家形の石棺が置かれています。石棺は阿蘇山の凝灰岩でつくられたものと判明して

います。

築山古墳は、周囲を二重に濠が巡る「二重周濠」をもっており、全長は11.5mにもなります。後円部には堅穴式石室の一部が露出しており、

家形の石棺が置かれています。石棺は阿蘇山の凝灰岩でつくられたものと判明して



「前方後円墳」と呼ばれます。築山古墳は、周囲を二重に濠が巡る「二重周濠」をもっており、全長は11.5mにもなります。後円部には堅穴式石室の一部が露出しており、家形の石棺が置かれています。石棺は阿蘇山の凝灰岩でつくられたものと判明して

います。

築山古墳は、周囲を二重に濠が巡る「二重周濠」をもっており、全長は11.5mにもなります。後円部には堅穴式石室の一部が露出しており、

家形の石棺が置かれています。石棺は阿蘇山の凝灰岩でつくられたものと判明して

います。

築山古墳は、周囲を二重に濠が巡る「二重周濠」をもっており、全長は11.5mにもなります。後円部には堅穴式石室の一部が露出しており、

家形の石棺が置かれています。石棺は阿蘇山の凝灰岩でつくられたものと判明して

います。

築山古墳は、周囲を二重に濠が巡る「二重周濠」をもっており、全長は11.5mにもなります。後円部には堅穴式石室の一部が露出しており、

家形の石棺が置かれています。石棺は阿蘇山の凝灰岩でつくられたものと判明して

築山古墳

知ってますか？
文化財



次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)

6月 6日(月)	本会議	9:30~
13日(月)	本会議	9:30~ 一般質問
14日(火)	本会議	9:30~ 一般質問
15日(水)	本会議	9:30~ 一般質問
17日(金)	本会議	9:30~
29日(水)	本会議	9:30~

お気軽に傍聴してください。

(都合により、日程が変更となる場合もあります。)

編集後記

春は、美和神社から見える景色も様々に変化し、桜、つじと心にもそつと温かさを運んでくれます。美和神社からはメガソーラー事業が進んでいる錦海塩田跡地も見ることができ、新しい事業が進んでいる景色に明るい未来を感じることができそうです。

2月議会では、28年度予算などしっかり議論し、市の方向性が定まりました。国が示す地方創生にも対応が十分できるように取り組んでいきたいと考えています。

また、平成28年度は、新図書館の開館、新病院の開院と2つの大きなことが動き始めます。

大きなものをつくっただけとさせないためにも、議会としてしっかり見守ってまいります。(小谷)

●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <http://www.city.setouchi.lg.jp>

インターネット中継はこちらから

この市議会だよりは再生紙を使用しています